

子どもたちからのメッセージ

子どもたちの今の気持ち、想いをメッセージで頂いております。その中のほんの一部をご紹介します。

【出来るようになったこと】大学一年生・女子
将来の夢である看護師への第一歩を踏み出しました。少しでも目標に近づけるよう頑張ります。

【頑張っていること】専門学校二年生・男子
今年は三月に国家試験を控えているのでそれに向けての勉強を頑張っています。

【伝えたいこと】小学校六年生・男子
いろいろな人がぼくを助けてくれています。ぼくもすこしでもたれかの役に立つ人になりたいです。

【伝えたいこと】就職・男子
僕は、頑張れば夢はかなうと思えました。就職する事が、夢と目標だったからです。この6年間、たくさんの方に励まされる事が、うれしかったです。ありがとうございました。

【嬉しかったこと】高校二年生・男子
障がいをもつ兄が就職できた事です。僕は常に一生懸命に頑張っている兄を尊敬します。

【嬉しかったこと】小学校五年生・男子
国語のテストで満点を取ることが出来ました。



保護者の方からのメッセージ

感謝のお言葉をいただきました。一部を抜粋して掲載いたします。

【祖父・Yさん】
いつも大変お世話様になりありがとうございます。震災から6年が過ぎ、ようやく新しい地域にも溶け込み普通に近い生活が送れるようになってきたと思っています。また、7回忌法要も無事に執り行うことができました。これも皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。孫たちも随分と成長しました。三女は、毎日勉強も欠かさずやっていますし、ピアノ教室、スイミングスクールにも休まず通っています。次女は部活、ピアノ教室を頑張っていますが、家庭学習は疎かになってきました。長女は、3年生になり高校入試を控え少しは勉強しなければいけないようすがなかなか実行が伴いません。ここにきてようやく塾に行きたいとのことで、今手続きをしているところです。これから難しい年代にも入っていきます。まだまだ長い道のりがありますので、健康に留意し、頑張っていきたいと思っています。教育・生活支援金につきましては、将来の教育費に使わせて頂きたいと考え預金しています。これからもよろしく願い申し上げます。

【祖母・Kさん】
あれから六年が経ち支援していただきほんとうにありがとうございます。あの恐ろしい津波で孫も私もほんとうに心が真っ暗になりましたが皆様のおかげで前に進むようになりました。月・木・土とスポ少のバスケ、火・水・金と塾に通っております。勉強とスポーツに全力でぶつかっている所でございます。学校もスポ少バスケも一日も休まず頑張っております。どうぞこれからも孫を見守って戴けたらうれしく思います。孫には辛いことがいっぱいありますが、その倍いっぱい幸せになってほしいと願っております。どうぞ宜しくお願い致しますね。心より感謝しております。

ご支援のお願い

JETOみやぎの活動は、すべて皆さまからのご寄付・賛助によって成り立っています。

活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも皆さまには、JETOみやぎの活動にご理解とご賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願い申し上げます。

ご寄付(税法上「特定寄付金」扱い)

ご寄付……………1口1,000円より

JETOみやぎよりニュースレターを郵送いたします。

※JETOみやぎは、仙台市より「認定NPO法人」としての認定を受けています。これにより、JETOみやぎにご寄付をいただいた場合、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。なお、税制上の優遇措置を受けるには、JETOみやぎ発行の寄付金受領証明書が必要です。

賛助会員

個人……………年・1口10,000円より

法人……………年・1口10,000円より 1口よりご賛助頂けます。

※賛助会員について

JETOみやぎの趣旨にご賛同いただき、震災孤児への継続的な長期支援を頂ける個人や法人の方が対象です。賛助会員様には事務局が発行するニュースレターの郵送(年2回発行)や決算・活動報告会のご案内をしています。

お振込先

七十七銀行 卸町支店

普通口座5786851

NPO法人 JETOみやぎ

(エヌピーオーハウジンジェットミヤギ)

※お振込手数料はご負担ください。

【寄付金受領証明書をご郵送いたします】
銀行よりお振込みいただいた際は、恐れ入りますがJETOみやぎへお電話でご住所をお知らせいただきますようお願いいたします。

《郵便振替口座》

特定非営利活動法人ジェットみやぎ

02250-8-135678

※ 寄付金受領証明書をご郵送いたします。

お問い合わせ

電話: 022-782-0303 FAX: 022-783-6116

メール: info@jeto-miyagi.org

ホームページ: http://jeto-miyagi.org

JETOみやぎ事務局より



震災から6年が経ちました。時間が経つと共に今ではもうあまり報道もされなくなったのではないかと感じております。最近では、保護者が亡くなったことにより、保護者変更の手続きも増えてきております。これは、保護者の高齢化が進んでいるということでもあります。JETOみやぎでは子どもたちはもちろん、保護者を含めたサポートが必要であり、これからが本当の支援の始まりと考えております。

JETOみやぎ NEWS vol.11

2017年5月発行 (年2回発行)

発行元: 認定特定非営利活動法人JETOみやぎ
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2-5-4
TEL: 022-782-0303 FAX: 022-783-6116



皆様のご支援のおかげで、第6期目となる平成28年度の「東日本大震災・津波 生活・教育支援金」の給付を行いました。今期は64名の子供たちに15万円を支給いたしました。内訳は19才以下が60名、20才以上で引き続き支援を希望する学生4名の支援となりました。また、今期は嬉しいお知らせがあります。JETOみやぎで支援をしていた20才の女の子が、結婚そして出産となりました。大変おめでたいことでもあります。JETOみやぎよりお祝い金として10万円をお渡しさせていただきました。これからは新しい命と新しい家族で幸せな家庭を築いてほしいと願っております。また、東日本大震災から6年が経過し、各地のNPO法人では一区切りついたとして活動を休止する団体も多く見受けられます。そのなかで余剰金をしっかりした団体に渡したいということでJETOみやぎが選ばれることが多くなりました。現在支援をしている中で、最も年齢の低い7才の子供が20才になるまで、あと13年の支援が必要となります。震災の風化が進む中ではありますが、JETOみやぎは皆様のお力を頂きながら息の長い支援を続けてまいります。

認定特定非営利活動法人JETOみやぎ

理事長 菅原裕典



2016年下期の活動トピックス

JETOみやぎ理事会を開催しました

平成28年12月14日(水)JETOみやぎ理事会を開催いたしました。今回の理事会にて新たに申請のあった3名の子供たちを支援することが決定いたしました。また、収支報告及び生活・教育支援金の支給額についても協議いたしました。



「東日本大震災復興支援 届けるプロジェクト」の取材に協力いたしました

「子供と家族を想う出版社 ホンブロック」様が発行する、東日本大震災の被災地支援の一環として始めた木陰の物語特別版。この本を読んで、JETOみやぎ菅原理事長の話を深く受け止めた「ホンブロック」スタッフの皆様のご思いが団先生の筆に伝わったものと感じました。ぜひ読んでいただきたい本の一冊です。



子どもたちからのメッセージ

子どもたちの今の気持ち、想いをメッセージで頂いております。その中のほんの一部をご紹介します。

【嬉しかったこと】中学校三年生・女子
二年生のクラスで沢山の思い出をつくることができたことです!! クラスの皆で放課後に遊んだり学校行事に本気で取り組んだり、とても充実した1年になったので、うれしかったです。

【出来るようになったこと】小学校六年生・男子
大人用の自転車に乗りはじめた。

【伝えたいこと】高校一年生・女子
いつも私達を応援して頂き、とても感謝の気持ちでいっぱいです。

【嬉しかったこと】中学校三年生・女子
新人戦で一回戦を突破したこと。

【嬉しかったこと】高校一年生・女子
志望校に合格したこと。

【伝えたいこと】中学校三年生・女子
いろんな方々が、応援してくれているおかげで、私は今、毎日をクラスや学年のみんなと楽しく笑って過ごすことができています。本当にありがとうございます。

【伝えたいこと】中学校二年生・女子
世界中のみなさんからの応援ありがとうございます。

【伝えたいこと】高校一年生・男子
いつも応援していただきありがとうございます。高校生活がスタートしました。5:30過ぎに起きて6:40のバスで仙台に通ってます。不安と期待でいっぱいですが頑張ります。

【嬉しかったこと】中学校三年生・男子
生徒会執行部の会長に任命されたこと。

【伝えたいこと】専門学校三年生・男子
私が自分の目指したいことのために勉強できるのは皆様の応援のおかげです。たまに過去の事を思い出してしまうこともありますが、日々楽しく生きることができています。これからもよろしくお祈りします。

【伝えたいこと】大学一年生・男子
いつも支援していただき本当にありがとうございます。大学に入学し、挑戦することのできることに幅も増えたのでいろいろなことに挑戦していきたいと思っております。



皆様からのご寄付・ご支援

平成28年度下期（11月1日～4月30日）にご支援頂いたチャリティー活動・ご寄付の一部をご紹介します。
 この他のチャリティー報告詳細はJETOみやぎのホームページをご参照下さい。

11月14日 エピデリ様

福岡県福岡市にございます。リンパ・筋膜専門サロン&スクール「エピデリ」の～エナジィングセラピスト福永順子様より、サロンに設置の募金箱にて集まったチャリティーをご寄付いただきました。エピデリを訪れるお客様の中には定期的に募金をされるお客様もいらっしゃるというお話をお聞きし、また今後も継続的に支援をしたいとの温かいお言葉もいただきました。仙台駅近くにて贈呈式をさせていただきましたが、お忙しい中お時間をいただきありがとうございます。



12月2日 宮城県トライアスロン協会様

7月3日、第22回みやぎ国際トライアスロン仙台ベイ七ヶ浜大会が開催されました。大会の舞台となる七ヶ浜町は東日本大震災で津波被害にあった地域のひとつで、今も復興工事が各所で行われています。淡浜緑地海岸で行われるスイムは比較的穏やかなコースで、バイクは七ヶ浜の比較的フラットなコースですが、ブラインドコーナーもあってテクニックが必要とされます。また、バイクでは震災の跡が残る七ヶ浜の街中を走り、ランコースの起伏あるコース設定のキツさは国内屈指と言われています。トリッキーなコースが好きな人には挑みたくある魅力があるコースの構成となっております。今回は、宮城県トライアスロン協会様より、大会でのチャリティーをご寄付いただきました。



12月5日 ブティックS-TWO様

12月3日、ホテルメトロポリタン仙台を会場に、第14回ブティックS-TWOチャリティーパーティーが開催されました。その中でJETOみやぎへの贈呈式の場を設けていただき、大きなご支援をいただきました。ブティックS-TWO様には、継続的にJETOみやぎをご支援いただいております。



12月28日 高進商事株式会社様

もしもの時のためのいのちを守る緊急ボックス「THE SECOND AID」で有名な、高進商事株式会社様より、商品の売り上げの一部をご寄付いただきました。そしてこの度、「車載防災の新しいカタチ、防災セットのスタンダード」として「CAR EMERGENCY BOX」の販売も開始されております。高進商事株式会社様には毎年継続的にJETOみやぎをご支援いただいております。当日は、高進商事株式会社 代表取締役 小田原宗弘様、開発企画部 眞山孝治様にお越しいただき、今後も支援していきたいという温かいお言葉もいただきました。



1月30日 映画「救いたい」宮城県上映会 実行委員会様

昨年の三月に、仙台商工会議所女性会様が主催となり、映画「救いたい」の上映会が仙台迎賓館 斎苑にて開催されました。映画「救いたい」は仙台医療センター麻酔科医の川村隆枝氏のエッセイを原作とし、一昨年秋に全国ロードショーとなりました。あの未曾有の大震災に襲われた人々が悲しみや厳しい現実を受け入れながら明日に向かって懸命に生きる姿を一人の女性麻酔科医の目を通し、夫婦愛を交えながら描かれた感動作となります。また、上映会の後には監督の神山征二郎氏（「ハチ公物語」などの名匠）、製作の鍋島寿夫氏（「蜩ノ記」など）、そして原作者である川村隆枝氏のトークショーも行われました。



2月3日 仙台SMIクラブ様

仙台SMIクラブ様の創立40周年記念事業として、昨年11月22日に震災復興チャリティー講演会が開催され、その参加費の一部をチャリティーとして、ご寄付頂きました。



3月4日 「続・絆カフェ交流会」に参加しました

仙台市山田市民センターにおいて、地域ボランティア「絆プロジェクト ほほえみ」様が主催する『続・絆カフェ交流会』が開催されました。絆プロジェクト・ほほえみ様は地域の皆さんが中心となって、震災復興支援をしようと2012年から活動を行っており、いつもJETOみやぎをご支援いただいております。『震災を忘れない』『防災・減災に取り組む』『震災孤児の支援を続ける』『共に生きる』ことを再確認できる場所を目指して、この交流会を続けておられます。今回は、この交流会がきっかけで以前よりJETOみやぎにご支援をいただいております兵庫県の武庫川女子大学附属中学校・高等学校様と、武庫川学院 同窓会の鳴松会 東北支部様からもご寄付をいただきました。



武庫川女子大学附属中学校・高等学校様
武庫川学院 同窓会の鳴松会 東北支部様

3月15日 伊佐チャリティー音楽祭様

3月12日、鹿児島県伊佐市にございます、大口ふれあいセンターを会場に、「第6回 伊佐チャリティー音楽祭」が開催されました。イベントは、大口ロータリークラブ、国際ソロブチミスト大口伊佐、大口ローターアクトクラブ、大口インターアクトクラブの4団体による開催となり、高校生の合唱、中学生の吹奏楽など生徒たちの熱い演奏が披露されました。会場には募金箱が設置され、参加した多くの方々からご支援をいただきました。また、「今後も継続して支援していきます」と嬉しいお言葉もいただきました。



3月16日 みやぎ生協様・株式会社サイコー様

2月11日～2月28日の期間中、みやぎ生協様の34店舗に設置してある「古紙リサイクルポイントシステム」にて集まった古紙1kgあたり2円（みやぎ生協様1円/kg、株式会社サイコー様1円/kg）をJETOみやぎへ寄附し、震災孤児への支援につなげていくというイベントが開催され、寄付金の贈呈式が行われました。みやぎ生協様のメンバーの皆様のご協力により、イベント期間中に364,285kgの古紙が集まりました。メンバーの皆様のご協力に感謝申し上げます。同イベントは昨年にも開催されており、とても大きなご支援を頂いております。



3月22日 仙台城南高等学校様

9月3日、仙台市太白区八木山にございます、仙台城南高等学校様にて『城南フェスティバル』が開催されました。このイベントはJフェス実行委員と生徒会を中心に運営され、軽音楽ライブや、吹奏楽コンサート、文化部展示、ダンスステージ、研究発表といった幅広いジャンルでの催し物のほか、各種模擬店も出店し、一般の方々へも公開されています。模擬店では各クラスがアイデアを出し合い、ポップコーンからお化け屋敷まで様々な模擬店となり、その他に委員会から教員の先生方の模擬店まで、全53種類の出店となりました。当日の収益をどのように活用するかということも、皆で話し合い、今回JETOみやぎへご寄付いただくことになりました。生徒の皆さんは目標と目的を持ち、これからも継続してJETOみやぎを支援したいと温かいお言葉をいただきました。



3月23日 株式会社オレンジライフ様

3月12日、和歌山県にございます、フェーナル吉備を会場に、株式会社オレンジライフ様主催のチャリティーイベント『東日本大震災 あの日をわすれない～残された子ども達に「絆」を繋ぐ～』が開催されました。ボランティアの子供たちによる「オレンジライフ屋台村」、地震体験車による「出張！減災教室」、「チャリティーバザー」などたくさんの中、JETOみやぎのブースも設置していただきました。当日はたくさんの方々にお越しいただき、大変盛り上がったイベントとなりました。こちらのイベントは今年で6年目となり、収益金を毎年JETOみやぎにご支援いただいております。株式会社オレンジライフ様では、ボランティア精神の育成と東南海地震に備え危機意識を持って頂くためのイベントとして毎年企画開催されています。



3月30日 ダッチャー奨学金様

未知ノ国守（ミチノクニノカミ）ダッチャーにお越しいただき「ダッチャー奨学金キャンペーン」で集まった募金をJETOみやぎにご寄附いただきました。ダッチャー奨学金キャンペーンは、河北新報朝刊と同時配布のフリーペーパー「週刊オーレ」に定期的に掲載されており、読者の方々へ募金を募っております。当日は、ダッチャー奨学金キャンペーン運営事務局である、第一エージェンシー様にもご同席いただきました。また、東日本放送様の取材も行われ、同日テレビにて放映されました。



4月2日 瑞江セレモ様

3月11日、瑞江セレモ様の『一之江セレモニーホール』と、『お仏壇ギャラリー音香』にて慰霊祭が開催されました。今回、福島県産品の店頭販売での収益と、当日お集まりいただいた方々から頂いた募金を合わせ、JETOみやぎにご寄附いただきました。『これからもJETOみやぎの活動を多くの方に知って頂き、多くの方からご支援いただけるように当社も務めていきます』と、温かいお言葉もいただきました。



4月6日 税理士法人あいき様・江崎様

愛知県より税理士法人あいきの皆様と、江崎様にお越しいただきました。あいきの代表社員である松田様には、国際ロータリー第2760地区/2520地区被災高校生支援事業でもお世話になった経緯がございます。今回は松田様



とご交友がある江崎様も一緒にお越しいただき、贈呈式を執り行いました。事務局では、「震災から6年目 これからのJETOみやぎの役割」をテーマに、理事長の菅原による講演をさせていただき、講演後のディスカッションでは、多くの質問や意見が飛び交いました。

4月10日 三浦様様

三浦様がJETOみやぎ事務局にお越しくださいました。三浦様には2014年より継続的にJETOみやぎをご支援いただいております。昨年、JETOみやぎにて協力させていただいた、ホンプロック社「東日本大震災復興支援 届けるプロジェクト」については、橋渡しの役割で大変なご協力いただきました。今回、ご夫婦での贈呈式は叶いませんでしたが、奥様より温かいお言葉をいただき、今後も「支える人を支える」というスタンスで関わっていきたく、力強いお言葉もいただきました。



4月10日 単電気株式会社様

仙台市若林区にございます、単電気株式会社の代表取締役社長 平間様にご来訪いただき、寄付金の贈呈式を執り行いました。また、単電気様からはJETOみやぎ正会員としてこれまでたくさんのご支援をいただいております。



4月17日 株式会社久保田ホールディングス様

株式会社久保田ホールディングス様では、仙台キリンビバレッジサービス株式会社様が提案している、「JETOみやぎチャリティー自動販売機を設置いただいております。また、その売り上げの一部をご寄付いただいております。株式会社久保田ホールディングス様、仙台キリンビバレッジサービス株式会社様同席のもと贈呈式を執り行いました。



4月25日 国分町街づくりプロジェクト様

3月11日、国分町にございます、元鍛冶丁公園を会場に、国分町街づくりプロジェクト様主催による、『キャンドルin国分町』が開催されました。参加費として一口500円で紙コップを購入し、外側にメッセージを書き、中にキャンドルを灯しステージに飾るというものです。鎮魂と追悼の想いをキャンドルに込めて火を灯し、元鍛冶丁公園はたくさんの方で埋め尽くされました。イベントでの収益金をJETOみやぎにご寄附いただきました。



4月28日 株式会社楽コーポレーション様

株式会社カネサ藤原屋様では「藤栄会」というお取引いただいているお客様を対象とした会を運営されており、年に一度、会員様を対象に講演会を開催しております。今回の講演会は、株式会社楽コーポレーション 代表取締役 宇野隆史様をお招きして開催されました。JETOみやぎの活動に賛同された宇野様より、チャリティーをいただきました。贈呈式には代理として、カネサ藤原屋 代表取締役副社長 佐藤万里子様にお越しいただき贈呈式を執り行いました。

